

東雲だより2021

関東の梅雨入りは、結局ほぼ例年通りとなりました。コロナで運動会ができなかった学校や幼稚園は気の毒でした。



- ① インストール研修の結果と予定
- ② 「日本の水素政策の課題と対応の方向性」特集
- ③ 荒尾先生寄稿「コロナ感染症と換気の盲点」
- ④ ラボ紹介「渋沢史料館ほか」

研修に当たっては、検温、マスク、手指の消毒、フェイスシールド・
使捨て手袋の使用、換気等万全の対策をとり実施させていただきます。



東雲研修センター内にあるゼロエネ
ハウスのシステムバスに、リンナイ
のマイクロバブルを設置しました。
1μm ~ 100μmの細かい泡が優れた
温浴効果と洗浄効果を生み出します

インストール研修の結果と予定



東電総合研修センター



便器設置研修



ガス可とう管資格講習



斎久工業様社員研修

インストール研修結果と予定をご報告します

【5月の結果】

- 5/14 ガス可とう管資格講習
- 5/18 便器設置研修

【今後の予定】

- 6/3 エアコン施工研修⇒若干名
- 6/8 配管接続研修⇒若干名
- 6/17 パッケージエアコン施工研修⇒若干名
- 7/13 システムバス現調研修⇒空いてます
- 8/3 キッチン現調施工研修⇒空いてます
- 8/26 便器ウオレット設置研修⇒空いてます
- 9/2 エアコン施工研修⇒空いてます
- 9/9 パッケージエアコン施工研修⇒空いてます

「 コロナ感染症と換気の盲点 」

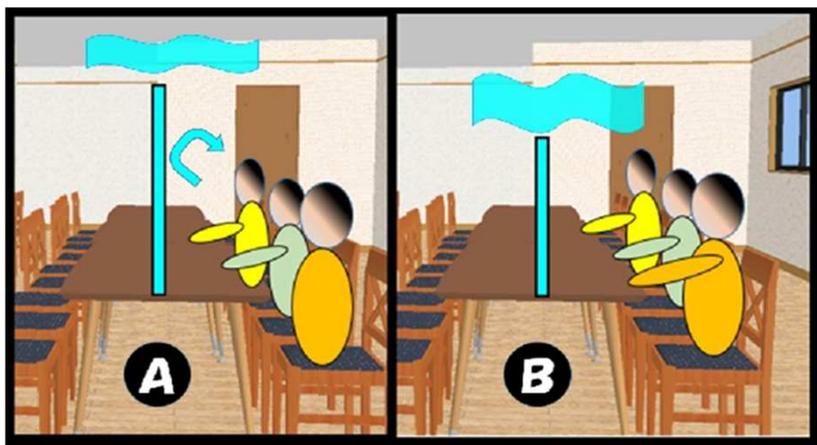
一級建築士 荒尾 博

コロナ感染症対策で、透明のアクリルパネルやビニールを使って感染を防ぐ対策が多く見られます。今のところコロナウイルスは飛沫感染が主で空気中に拡散すれば感染しないようなのです。

そうした中で、ある飲食店でクラスターが発生しました。この例では向かい合わせのテーブルにアクリル板を立てて飛散しないようにし、隣同士も椅子を空けていたようです。アクリル板は画2のAのようにお客様が立った時より高くしていたものの、天井とは十分な隙間があり、換気も考えていたということでした。



画1 飲食店とアクリルパネルイメージ



画2 Aは感染し、Bは感染しにくい

この事例について検証を行ったところ、Aでは確かに天井付近に空気の流れがありましたが飛沫飛散した直後にアクリル板に阻まれて正面の方には飛散しなかったものの、アクリル板が高かったために両隣に流れて飛散した結果、感染してしまったことが飛沫を想定した煙の流れで判明しました。

つまり、Bのようにアクリル板は直接飛沫が相手に飛ばない高さであれば、良いのであって、アクリル板からは室内の空気の流れで拡散することと部屋全体の換気がしっかりしていれば感染しないとも言えるのです。

このことは事務所などでも言えそうで、机に置くアクリル板は座ったときの頭の高さより少し高くし、部屋全体では空気が拡散するようにすること。また、必要に応じてサーキュレータなど活用すること。部屋全体としては、換気回数より増やすことが良いのです。

因みに、建築関連法の換気回数は、病院のように免疫力が弱った方や指定感染症病棟のような条件やパチンコ店のような狭い空間で喫煙を想定された空間、劇場のような閉鎖空間などを想定していて、事務所や住宅などではあまり想定されているとは言えないようで、最低基準を定めている程度と思って対応が必要なのだと思います。

もし、換気についての相談を受けた場合、重要なのは、コロナ感染や感染に関するニュースに常に関心を持ち、建築に関わる情報であれば収集しておくことで営業等で役に立つと思います。



渋沢史料館は、渋沢栄一記念財団の附属施設として、1982（昭和57）年、渋沢栄一の旧邸「暖依村荘」跡に設立された登録博物館です。



晩香廬（ばんこうろ）は、渋沢栄一の喜寿を祝って現在の清水建設（株）が贈った洋風茶室です。1917（大正6）年の竣工で国の重要文化財です。



青淵文庫（せいえんぶんこ）は、1925（大正14）年の竣工で、栄一の書庫として、また接客の場としても使用されました。国の重要文化財になっています。



「誠之堂」（左）と「清風亭」（右）の2つの建物は、深谷市で生まれた渋沢栄一にゆかりの建物で、東京世田谷区から深谷市に移築されました。ともに建築史上重要な建物で、重要文化財に指定されています



渋沢栄一の活動を広く紹介する博物館として、1982年に開館。かつて栄一が住んでいた旧渋沢邸跡地に建つ。栄一の生涯と事績に関する資料を収蔵・展示し、関連イベントなども随時開催。旧渋沢庭園に残る大正期の2棟の建築「晩香廬」「青淵文庫」の内部公開も行う。
住所 東京都北区西ヶ原2-16-1
完全予約制 10：00～12：00／13：30～15：30
開館カレンダーを参照ください

東雲だより6月号”編集後記 ☆ドルチェ☆ — 野菜の花 —

今年も家庭菜園の苗の植え付けの時期になりました。

今年は知り合いのトマト農園を経営している方に美味しいトマトの育て方を教えて頂いたので、先日苗を買って来ました。それを植えるにあたって、畑で花が満開を迎えていたある野菜を抜いたんですけど、その野菜の花を私は初めて見たので「こんな花が咲くんだー！」と驚きでした。それが右の写真です。何の野菜の花だか分かりますか？正解は、ニンジンです。ある日、買って来て数日経ったニンジンが萎びてしまっていることに気付いて、このまま畑に植えたらどうなるんだろう？と思って、試しに植えたのが始まりです。萎びていたはずのニンジンからグングン茎が伸びて、葉が茂って、最後は丸い花火のような、色の濃いカリフラワーのような見応えのある花が咲きました。小さい花が集まって大きく見えるのは、この時期といえばお馴染みのアジサイに似ていますね！



ただ興味本位で植えてみたニンジンから、花が咲いて癒されるとは夢にも思っていなかったのですが、この成長とインパクトのある花が見られて良かったです。次また他の野菜が余った時もやってみよう！ 佐藤深雪

橋本総業

東雲研修センター

〒135-0062 東京都江東区東雲2-9-7 東京配送センター内
TEL.03-3527-5900〈代〉 営業日▶月～金9:00～17:00 土:応相談

●お問い合わせは
TEL.03-3527-5628 FAX.03-3527-6070

お問い合わせは

